

## 行政評価事務事業一覧

### 【まちづくりの目標4\_都市基盤・防災・防犯・消防】

#### 施策 4-4\_港湾の整備

	基本計画	事業番号	細事業名称
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	00330_01	工業用地造成事業(内港地区)
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08025_02	臨港道路改修事業
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08069_01	公共単独継足事業
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08145_01	県営事業負担金(局部改良事業:東予港)
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08247_01	港湾・海岸(補修事業)
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08263_01	港湾海岸施設長寿命化事業
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08268_01	マリーナ施設改修事業

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	00330_01		
事業名(行目名称)		工業用地造成事業(内港地区)	細事業名	工業用地造成事業(内港地区)			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備			
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	工業用地(内港地区)	数値	1			
	手段(どうやって)	護岸整備と埋立を行うことにより、工業用地を造成する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	工業用地を造成することで当該地区の防災機能の向上と環境の改善、公共道路と特定通路の接続を確保することにより、持続的な経済発展を実現する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	造成事業負担金66,000千円	
経費		24,363	66,000	66,000	20,112		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	24,363	66,000	66,000	20,100		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	12		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
造成事業進捗率		目標値	67	79	80	99	100
		実績	67	74	74	99	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
埋め立て及び擁壁工事完了。港務局港湾課からの負担金の請求がないため進捗率は伸びていないが、令和3年度末の造成完了に向け、ほぼ工程通り進捗している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
令和3年度中に整地工事、工業用水管切替え、大江橋撤去、道路付替え・舗装工事を完了し、令和4年度に測量登記の上、売却予定。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和3年度中に予定していた造成事業は予定通り完了したことから、令和4年度には新たに生じた土地として市議会の議決を経て、用地測量、分筆、財産処分(港務局から市への無償譲渡)、登記を行い、年度内に住友化学への売買契約を完了させる。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08025_02			
事業名(行目名称)		港湾施設改修事業	細事業名	臨港道路改修事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備				
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及び		数値	118,103人			
	手段(どうやって)	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)を活用して整備を進めていく。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	適切な管理及び改修を行い、施設の長寿命化を図り、港湾施設の安全性と利便性を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		22,667	28,000	8,000	8,000	道路改修 16,000(千円) 橋梁設計 12,000(千円)		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	22,600	25,200	7,200	7,200			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		67	2,800	800	800			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
単年度整備換算延長(m) (当該年度事業費/全体計画事業費) × 3,250m(整備計画延長)			目標値	353	256	44	88	440
			実績	525	256	57	88	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
概ね計画通りに進捗している。引き続き関係機関と連絡を密にし事業進捗を図る。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
令和4年度から新たな橋梁及び道路改修工事に着手することから、事業進捗を図るため必要額を要求する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
港湾施設の安全性と利便性の確保は、物流機能の強化・充実をはじめ、港湾管理者として必要不可欠である。事業の進捗は国庫補助金額の影響を受けることから、国・県からの補助金の確保に努め、事業を継続し、早期の事業効果発現を図る。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08069_01			
事業名(行目名称)		単独港湾施設改修事業	細事業名	公共単独継足事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備				
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及ぶ		数値	118,103人			
	手段(どうやって)	港湾施設の建設及び維持・修繕工事を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	補助対象工事に併せて単独継足工事を発注することにより、施設整備の効率化を図り港湾の利用率を向上させるとともに、適正な維持管理を行い、利用者の安全・安心を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		59,124	36,900	36,900	33,513	垣生第3岸壁エプロン改修工事 36,000(千円)		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	41,400	32,400	32,400	29,300			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	17,724	4,500	4,500	4,213			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
実施件数			目標値	2	4	1	2	2
			実績	2	4	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
老朽化等により施設利用者からの改修要望は年々増加している。職員が直接対応する案件・直接対応できない案件共に増加していることから、優先度や効果・効率性を踏まえた対応策の検討が必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
緊急的な改修工事が必要となったため、公共施設等適正管理推進事業債を活用することで、適切な維持管理の推進を図る。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
適切な維持管理を行う事で、港湾・海岸保全施設の安全性・利便性が確保される。限られた予算の中で、緊急性・施設利用状況等を考慮し、引き続き施設の改修・修繕等を実施する。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	08145_01	
事業名(行目名称)		東予港(東港)建設事業		細事業名	県営事業負担金(局部改良事業:東予港)		
総合 計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策	港湾の整備		
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化		担当課	港湾管理課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及び			数値	118,103人	
	手 段 (どうやって)	県が修築工事を実施した場合、愛媛県港湾管理条例に基づき、費用の一部を市が負担する。(県事業費×1/3)					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	東予港(東港地区)の港湾施設の保全および機能の確保を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		28,038	1,000	24,160	23,633	県営事業負担金 1,000(千円)	
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	28,038	1,000	24,160	23,633		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
港湾機能に関する利用者からの苦情件数(件)			目標値	0	0	0	0
			実績	0	0	0	—
V 事 中 評 価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
引き続き県営事業の推進を要望していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
県の事業規模に応じて要求する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
本事業は、愛媛県港湾管理条例に基づく負担金の支出である。東予港(東港地区)の港湾整備は本市の経済活動に必要な不可欠であることから、事業を継続する。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08247_01			
事業名(行目名称)		港湾・海岸補修事業	細事業名 港湾・海岸(補修事業)					
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 港湾の整備					
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課 港湾管理課					
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	黒島1丁目の工業団地		数値	44ha			
	手段(どうやって)	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)を活用して整備を進めていく。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	鋼矢板の腐食に対する補強及び電気防食工事を実施し護岸機能の回復を図ることで、市民の安全・安心を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	護岸工事 6,500(千円) 設計業務 5,500(千円)		
経費		14,500	12,000	18,000	3,935			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	13,000	9,500	16,200	2,300			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,500	2,500	1,800	1,635			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
単年度整備換算延長(m) (当該年度事業費/全体計画事業費)×657m (整備計画延長)			目標値	118	220	22	43	89
			実績	118	220	43	43	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
概ね計画通りに進捗している。引き続き関係機関と連絡を密にし事業進捗を図る。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
令和4年度から新たな護岸改修工事に着手することから、事業進捗を図るため必要額を要求する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
老朽化していく施設が増えていく中で、計画的に施設の長寿命化を図る事は施設管理者として重要な責務である。事業の進捗は国庫補助金額の影響を受けることから、補助金の確保に努め、事業を継続する事で、安全・安心の確保を図る。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08263_01			
事業名(行目名称)		港湾海岸施設長寿命化事業費	細事業名	港湾海岸施設長寿命化事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備				
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及び			数値	118,103人		
	手段(どうやって)	維持管理計画・長寿命化計画等に基づき、港湾施設・海岸保全施設の点検及び計画の更新を行い、計画的に修繕・改築を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	点検結果等により施設修繕や老朽化対策工事を実施し、市民の安全・安心を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	港湾施設・海岸保全施設点検及び計画等変更業務 17,500(千円)		
経費		0	17,500	17,500	17,307			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	17,500	17,500	17,307			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
点検施設数			目標値	0	0	42	84	41
			実績	0	0	43	85	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
点検施設が多数あり、職員直営での点検も実施している。現職員数で点検を実施するのは負担が大きいため、対応策の検討が必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
令和4年度は海岸保全施設の点検が無いため、港湾施設の点検施設数に応じた必要最少額を要求する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
港湾・海岸保全施設の適切な維持管理は港湾・海岸管理者として重要な責務である。安全・安心を確保するため、法令点検を確実にを行い、点検結果を改修等の計画に反映する。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08268_01			
事業名(行目名称)		マリーナ施設改修事業	細事業名	マリーナ施設改修事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備				
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	マリンパーク新居浜利用者		数値	118,103人			
	手段(どうやって)	マリンパーク新居浜の改修・修繕を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	海洋性レクリエーションの拠点として、また、市民の交流の場として、快適に利用できる施設にする。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		2,982	46,140	46,140	33,090	マリンパーク新居浜改修等工事 46,140(千円)		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		41,500	41,500	29,700			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,982	4,640	4,640	3,390			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
改修箇所数			目標値	2	1	1	2	1
			実績	2	1	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
供用開始以降年数が経過し老朽化等により、マリンパーク新居浜の運営に影響を及ぼしている。指定管理者と協議し、安全かつ快適に利用できるよう、計画的に改修を実施していく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
アセットマネジメント保全計画の予定規模で要求する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
みなとオアシスマリンパーク新居浜は広く地域の方々に利用されている施設である。安全かつ快適に利用していただくため、引き続き改修・修繕を実施し、更なる賑わいの創出を図る。								